

【地区活動報告】

米山記念奨学会 イヤーエンドパーティ



地区米山学友小委員長 納谷 政志

12月9日、大阪府泉大津市、関空泉大津ワシントンホテルにて、地区米山記念奨学委員会・地区米山学友会合同開催による2023学年度イヤーエンドパーティを行いました。

奨学生、学友(家族含む)、役員委員、カウンセラー、大学担当者、計66名が出席し、盛りだくさんのイベントで親交を深めました。また大学担当者様より感謝の言葉を頂き、嬉しく思うと同時にカウンセラー様、委員の皆様の対応に感謝致します。



2640地区米山学友総会も併せて開催し、会計報告や行事实施報告、実施役員選任を決議しました。

終始、和やかな雰囲気に入れられ、奨学生、学友、ロータリアンが、イヤーエンドパーティを通じて絆を確かめ合う場になりました。



【地区活動報告】

地区大会におけるポリオ募金活動

地区ロータリー財団委員長 中野 均
 ポリオプラス小委員長 中野 智一

10月24日世界ポリオデーに伴い、11月11日～12日スターゲートホテル関西エアポートにて開催されました地区大会において、地区ロータリー財団ポリオプラス小委員会が、あと少しとなったポリオ根絶に向けて募金活動をしました。

当日は、地区財団関係者以外に関西国際空港ロータリークラブの皆様、ロータリー財団学友そして初芝立命館高校インターアクターの協力を得て、来場されたロータリアンに呼び掛けを致しました。また12日には、インターアクターが本会議場内にのぼり旗・募金箱を持って回ってくれ、出席されている多くのロータリアンからご寄付をいただきました。

また、アフガニスタンとパキスタンで4人ポリオ発症者が出て計11名となりました。RI財団として2026年根絶に向け取り組んでいます。各地区でポリオイベントの実施も言われていますので、当地区として次の取り組みを考えたいと思います。

結果として、合計137,512円のご寄付をいただき12月に送金致しました。



世界ポリオデー
 10月24日



【地区活動報告】

ローターアクトクラブ第3エリア代表者会議



地区ローターアクト委員長 高橋 佳寛

2023年12月10日、日曜日、サンスクエア堺 B棟地下1階 第5階会議室におきまして、2023-24年度 ローターアクト第3エリア会議が開催されました。

谷ガバナーを始め、野村ガバナーエレクトも参加して頂き、そして各地区のローターアクト地区代表、幹事が参加し総勢40名での会議となりました。

協議事項は「ローターアクトクラブの地位向上について」RI理事会による方針変更によってローターアクトを取り巻く現状が劇的に変化している事から、各地区の対応状況及びそれに伴う効果・課題点を話し合いました。

審議事項では「ローターアクトの『自立』の定義について」近年、ローターアクトはロータリーと肩を並べる立場となっており、ロータリアンからも「自立」の言葉をよく聞きます。ですが我々からすれば何を持って「自立」なのかを考える日々で、人によって「自立」の定義が異なり、困惑している地区



もあるでしょう。ある地区は予算を削られる、もしくは予算をいただけない、通帳もない地区もあります。そこで全国でローターアクトの「自立」を定義し、ロータリーに提案するのはいかがでしょうか。そうすることで自分たちの目標にもなり、ロータリーからもローターアクトの「自立」とは何かを明確することができ、有意義な活動をしてきたい。という説明がありこの二案が主に話し合われました。多方面からも様々意見が飛び交い今後のロータリーとローターアクトの付き合い方としての第一歩が進んだ様な大変貴重な会議になりました。



ローターアクト



若いグローバルリーダーのネットワーク

ローターアクトクラブは、18歳以上の人びとが集まって、地域社会のリーダーと意見交換したり、リーダーシップと専門的なスキルを育みながら、楽しく奉仕活動を行います。

ロータリーとローターアクトの会員は、世界各地で奉仕を通じて共に行動しています。大都市から僻村まで、ローターアクトはさまざまな地域社会で変化をもたらしています。

【地区活動報告】

グローバル補助金 奨学生地区面接

地区ロータリー財団委員長 中野 均



グローバル補助金奨学生応募受付期間終了を迎えようとしていた11月下旬。クラブより委員長に照会があり、内容を聞き取り、至急関係書類をクラブへ提出し、クラブ面接を実施して、今後お世話出来るか判断していただくよう回答。その後、地区委員会に関係書類が送付されてきました。

関係書類は、谷ガバナー・野村エレクト・地区補助金小委員会委員に送付し、12月16日(土)午前10時より谷ガバナー・野村エレクト同席で地区面接を実施しました。

種々の質問に対し明確に答えてくれたこともあり、面接終了後、協議した結果、総合的に判断し、地区として「合格」通知を出すこととしました。但し最終的に判断するのは、「RI財団である」ことを伝えました。

委員会として、大学院のある留学先国の地区そしてお世話クラブを探しサポートして行きます。

ロータリー財団 グローバル補助金

グローバル補助金は、ロータリーの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援します。クラブと地区は、グローバル補助金を通じて地域社会のニーズに対応する活動を行うことで、グローバルなパートナーシップを強化できます。

グローバル補助金プロジェクトの立案に関する詳細は、「[グローバル補助金ガイド](#)」をご覧ください。この資料では、補助金の申請、実施、進捗と最終報告について説明されています。

グローバル補助金による活動の種類

- 人道的プロジェクト
- 奨学金: 大学院レベルの留学
- 職業研修チーム (VTT): 専門職業に関する研修を提供するチームや、研修を受けるチームを海外に派遣



グローバル補助金 奨学金

グローバル補助金は、世界で求められている人道的ニーズや課題を反映したロータリーの重点分野のいずれかに関連し、長期的に大きな成果が期待できる、大規模で国際的な活動を支えるものです。グローバル補助金における奨学金は、重点分野の1つあるいは複数に関連する研究のための、大学院または同等の研究機関での1~4年間の留学を支援するために提供されます。



ロータリー平和フェローシップ

ロータリー平和フェローシップは、平和および紛争解決の分野におけるリーダーを育成・支援するための奨学金プログラムです。世界から選ばれる最高130名のフェローは世界の著名な大学に設置された7つの「ロータリー平和センター」のいずれかで、修士課程または専門能力開発修了証プログラムに参加します。